

発行／伊那市公民館運営協議会 編集／公民館報いな編集委員会

[問い合わせ先] 〒396-0015 伊那市中央5052番地
TEL 0265-78-3447 FAX 0265-78-5866

伊那市公民館の
ホームページはこちらから▶

伊那市公式ホームページ <http://www.inacity.jp/> [E-mail] kmk@inacity.jp



今月の
Photo

高遠町公民館

高遠町地区二十歳のつどい 1月2日(木)

保護者や地元の方々も見守るなか、新成人34名の門出を祝いました。会場のあちこちで、旧友や恩師との再会を喜びあう姿が見られました。

地域のアンテナ	P27
スポットライト	P27
西箕輪薪の会(西箕輪公民館)	
分館紹介	P28
長藤地区分館(高遠町公民館)	
ふるさと発見	P28
根木谷観音堂(富県公民館)	
活動スナップ	P29

いっふく



伊那市に限らず、日本全国には多くの古文書が蔵の中などで眠っています。このような古文書の解読を進めるため、昨年10月から「第1回古文書解読コンテスト」が始まり、高遠閣でオープニングイベントが開催されました。このコンテストでは、ネット上に登録された古文書データを一文ずつ楷書体に変換、登録するなどの作業量を競います。

個人やグループで参加した皆さんは、操作方法を聞き、翻刻作業に取り組みました。私も挑戦してみましたが、楷書体で書かれた箱書(はなび)の少し入力することができただけで、崩し文字の文書の部分には全く手がつきませんでした。

会場内は、すらすらと翻刻を進めていく方、グループでわいわいと楽しみながら作業を進めていく皆さんなどで熱気に包まれました。どなたも楽しそうに取り組みれていたのが印象的でした。

崩し文字を読めるおじいちゃん、おばあちゃんが古文書を解読し、パソコンが得意な孫世代が入力する、という具合に家族ごとで取り組むことができれば、これも生涯学習のひとつの姿ではないか、とも思いました。

新年度には第2回も予定しています。皆さんもご家族やご友人同士で参加してみたいかでしょうか。

生涯学習課長 矢澤 浩幸
やざわ ひろゆき

地域のアンテナ

東春近公民館

東春近たき火の日

たき火を囲んでそれぞれがゆるやかに楽しむ。大人も子どもも、森でまったりと、五感で味わい、火から元気をもらおう。東春近の「老松場の丘・古墳公園」では、保育園児から高齢者の方まで、さまざまな年代が集ってたき火を楽しむ日があります。それが「東春近たき火の日」です。

公園の整備委員会や地域おこし協力隊をはじめとした地域の方々により、昨年8月から毎月1回開催されています。東春近保育園の園児や東春近小学校の児童などの参加者たちは、ウインナーやマシュマロなど好きな食べ物を持ち寄り、たき火で焼いて食べながら、楽しく過ごしています。「火はあったかいね」「ちょっと焼きすぎちゃったかな」など、自然と笑顔の交流が生まれます。

ある日は小学校の児童が火起こしから挑戦してみたり、また別の日はたき火を囲みながら夜空を眺めるために集まったり。公園内は自然がいっぱいで、木々に囲まれながらゆるやかな時間が流れます。

会場で子ども達とたき火を囲んでいた主催者の一人は「東春近地区のかけがえのない里山を活用し、これからも活動を広げて、一緒に取り組む仲間を増やしていきたい。そして、幅広い世代が交流しながら『森と学び』を得られる場にしたい」と話してくれました。



冬は夕暮れにゆったりと



夏は昼から元気に!

次の「東春近たき火の日」は、どんな笑顔が見られるでしょうか。

西箕輪薪の会

スポットライト

西箕輪公民館

西箕輪公民館(愛称「ぬくもり館」)が現在の地に建設されて今年で11年を迎えています。この建物の「図書交流スペース」には薪ストーブが置かれていて、ストーブに火が入られる時期が来ると、来館される皆さんはストーブ周辺で、思いのひとときを過ごしています。



ストーブの周辺でひとときを過ごす

この薪ストーブに使われる薪は、年間約1500本ですが、この薪の供給をぬくもり館開館以来担ってきたのが、「西箕輪薪の会」です。この会は西箕輪地区の里山の森林資源を活用して、安定的な薪の供給を図ることを目的としています。会員は40余名で、年2回、西箕輪の里山内で、利用先がなく森林内で残置された木材や倒木などの搬出、玉切り、薪割り作業などを行い、その作業を通して地域の山林

整備を図っています。また、チェーンソーの刃の目立てや、消防署員による火災予防など、薪作りや薪ストーブ使用にかかわる研修会も行ってきました。

この会の金井溪一郎会長が年度初めのあいさつで「他地区にはないこの会。西箕輪は地域が薪ストーブが多い特色のある地域だが、時代は薪を生活に取り込むという流れの中にある。時代の先端の活動を担っていると自覚もしたい。私たちは誇りを持ってこの活動を行っていききたい。薪の供給は、同時に森林が整備され、年数がかかるが、良き山を育てることにつながる。今後も地域の山に光が当たるとこの活動を事故なく楽しく継続していきたい」と話されました。このことを会員皆で願いながら楽しく活動を続けています。



会員による木材の玉切り、搬出作業

分館紹介

長藤地区分館

高遠町公民館



長藤は「おさふじ」と読みます。私は電話で住所の確認の際「ながふじ」と言われることが多いので、こちらから「これでおさふじと読みます」と言います。場所は高遠町市街地から茅野市方面へ向かい始めたところから長藤郵便局を過ぎたあたりまでになり、南北に長い地区です(世帯数292戸、人口652人 ※令和6年12月1日時点)。

昨年度から再開した「長藤区民の集い」を11月3日(日)に行い、区内外から多くの方に参加いただきました。ステージ発表では、高遠北小学校の長藤地区児童による合唱をはじめ、長藤舞踊クラブ、伊那市民吹奏楽団など、9団体が1年間の練



「長藤区民の集い」ステージ発表の様子



習成果を発表しました。また、陶芸・書道・絵画などの作品展示に加え、昨年好評だったフリーブースには11グループに出店いただきました。どの分野をみても皆さんの多才さに驚くばかりでした。

2月には恒例の長藤区民卓球大会を控えています。当日は抽選により2つのリーグに分かれ各地区対抗戦を行い、上位2チームによる優勝決定戦及び、3位決定戦によって順位が決まります。常勝チームが連覇を伸ばすのか、そこに待ったをかけられるチームが出てくるのかという勝負の日でもあり、いつもの仲間や久々に会う知人との会話の機会でもあります。年代・性別を超えた交流を、長藤地区の活性化及び活力ある公民館活動へ繋げていきたいと思います。

今回、本地区分館を紹介するにあたり高遠町図書館で、長藤区設立記念誌『おさふじの地名と歴史』という資料を読みました。平成28年に長藤区と長藤地区分館によって発刊され、長藤区の歴史・文化を知ることができます。長藤地区に関わりのある方など年代を問わず読んでいただきたいと思います。

高遠町公民館長藤地区分館主事 細野 剛司

根木谷観音堂

今回は、富県北福地区にある「根木谷観音堂」というお堂を紹介します。

「根木谷観音堂」は、北福地根木谷常会にあるお堂です。現在は、地区の集会所として使われています。お堂の中には、寛政11(1706)年に開眼された白衣観音様が本尊として安置されています。

また、お堂の天井は格天井となっており、白衣観音や龍、馬など様々なものを題材とした136枚もの絵が描かれています。絵は地元の旧富県村から旧東春近村、旧高遠町まで、幅広い地区の多くの施主さんから寄進されたものであり、観音様が当時の人々から大切にされていたことが伺えます。

さらにお堂の中には、明治時代の伊那の俳人「田中希世起」が奉納した「俳額(俳句額)」が飾られています。俳額には、松尾芭蕉とその前に車座になって芭蕉の



発見

富県公民館



格天井には様々な絵が描かれています



松尾芭蕉が描かれている俳額

教えを受けている弟子たちの様子が描かれており、続いて当時の俳人たちが作成した208もの俳句とその居住地が書き並べられています。この俳額は、当時の文化を知る上での貴重な資料となっており、また多くの俳句を作った俳人たちの情熱の強さを感じることが出来ます。

皆さんの近所にも、貴重な歴史・文化遺産があるかもしれません。お住まいの地区を探索し、新たな発見をしてみませんか。

参考資料…平成13年度北福地公民館事業「北福地の昔を訪ねる会」の文章より

活動📷スナップ



ぱぱいやの会

12月6日(金) 西春近公民館

美味しいキムチ漬けを作ろうと参加者はみんな、精一杯料理に取り組みました。



親子青空教室

12月7日(土) 美篤公民館

稲わらを締めたり編んだりするのは難しかったけれど、しめ縄づくりは楽しい思い出です。



第45回富県ふるさとまつり

12月8日(日) 富県公民館

新山小学校1年ふじ組の皆さんが、元気な歌声と劇を発表してくれました。



茶道教室

12月13日(金) 手良公民館

中学生からふくさのたたみ方を教えてもらっています。



チャレンジ!おっとこ塾

12月13日(金) 東春近公民館

酒井さつき先生さかいご指導のもと、五平餅ごへいもちや焼き鳥などを作りました。



らっこルームクリスマス会

12月16日(月) 伊那公民館

いい子にしていた皆に、サンタさんがやってきました。